

クローズアップ！ 復旧・復興・創生あるいは防災に活躍する市民グループ

浦安市内には、東日本大震災時やそれ以前から、復旧・復興に向けて あるいは防災活動に関して自主的に実践してきた市民グループが多くあります。その内容は、被災地区あがての復旧活動、液状化住宅の沈下修正工事アドバイス、発災前からの続けられてきた防災活動などです。また さらなる災害を想定して本格的な防災計画を策定した訓練実施例や、今後のまちの発展＝浦安創生にむけて、より安全なライフラインの構築を実現させたいと活動しているグループもあります。ここではそうしたグループのいくつかをご紹介します。

No	団体名称	範疇	活動内容	代表者	連絡先	HP
1	災害復興特別プロジェクトチームM3	復旧 復興	東日本大震災後、即時に立ち上がった舞浜3丁目自治会の中の住民自主チーム。専門家グループにわかれ、街を復旧・復興させることを使命に、国・市・民間と協力し精力的な活動を続けている。	伊能 隆男 (本部長)	080-5884-0160	○
2	碧浜復興委員会	復旧	日の出2丁目の碧浜住宅地を中心に、毎月定期的に沈下修正相談会を実施し住民の相談に応じている。継続した相談者がありこれまで工事に伴うトラブルもなく住民に安心を与えている。	西岡 思郎 (委員長)	047-351-8014	○
3	入船西エステート	防災	自治会傘下の自主防災隊(隊員171名)が緊急時に各人に役割を振当て、全住民(2100名)の救済に臨機応変に活動する。定期訓練以外に学習会、体験バスツアー、サバイバル訓練などを行っている。	野内 利雄 (副隊長)	047-353-9187	-
4	明海地区5自治会・小中学校・PTAグループ	防災	自治会・学校・PTAが連携し、広域避難所(明海小・中学校)が安心・安全の基地になるよう、運営のマニュアルを1年間を要し作成した。マニュアルにもとづき3月10日にシミュレーション訓練を実施。	五十川 勝 (世話役代表)	047-380-7780	-
5	浦安創生ネット	復興 創生	復旧・復興そして創生を目指し、浦安をより安全で安心できる都市構造にしたいと考える。それには、市民・行政の連携が不可欠と考えて市長への要望、市民の集い、セミナー等の活動を行っている。	只野 康夫 (代表)	090-3001-8530	○
6	街人のひろば (まちうど)	まち づくり	情報や意見を交換する「場」として1992年より、まちづくりに関心ある市民や在住専門家が、隔月の例会で内部・ゲストの話題提供をもとに交流。震災以降は、液状化の技術的認識と対応や管理組合の災害対応等が主要テーマに。代表や事務局はなく持ち回りの世話人制で運営されている。	山本 理 (連絡担当)	machiudo@ yahogroups.jp	-
7	NPO浦安液状化復旧相談室	復旧	市内在住の複数の液状化対策専門家が被災市民の沈下修正工事の相談に応じている。これまで120件以上の相談をうけ、工事に伴うトラブルを事前に防ぐ。	高階 實雄 (代表)	090-1452-1011	○
8	浦安市環境共生都市コンソーシアム(スマートシティ)	創生	浦安市、明海大学、ハウスメーカーなどの企業で組織され、地盤改良を施したうえで太陽光発電や非常用の蓄電池を備え、エネルギーを最適管理できる街づくりに取り組む。	中城 康彦 (明海大学)	:047-355-5120	-
9	海風の街自治会	防災	自治会と管理組合とが協力し具体的で自マンションに即した防災マニュアルを作成、年2回マニュアルに則った防災訓練を長年開催し、実践的な訓練経験者が多数育成されている。	清家 省二 (自治会長)	047-355-7282	-
10	コモンシティ浦安自治会(東野3丁目)	防災	400戸の戸建て住宅地で自治会加入率は86%と高く対策本部的組織のリードで、住民と内外ボランティアやハウスメーカーの支援がうまく機能し、短期間で噴出土砂の撤去等が出来た。	藤岡 暉生 (防災部長)	047-354-3776	-

★他にも、紹介したいグループがあれば是非ご連絡ください。(090-5492-5250 浦安創生ネット事務局)